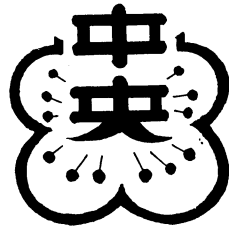


わが校のほこり



白河市立

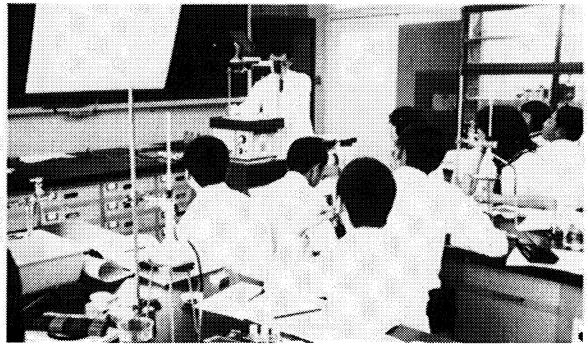
# 白河中央中学校



正門からみた南校舎（玄関側）

昭和四十五年の学校火災後、「校地は緑、校舎は美、我らは気力」のスローガンのもとに全校一丸となって再建に努力し、昭和五十年環境緑化コンクールで県知事賞を受け、現在、紅白のかれんな花をつけたハナミズキやユリノキをはじめ、百九種類、千八百七本の樹木が白亜の校舎をやわらかくつつんでいる。

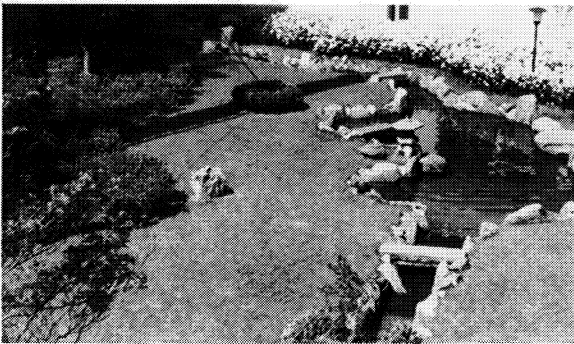
「教育機器活用による学習指導法の研究」は七年目を迎え、年間四回の校内研修会と、各教科の実践授業を通し



OHPを活用しての授業風景

て着実にその成果をあげている。ちなみに、四十台のOHPは、フル回転のあまり、たえず修理に追われている現状である。

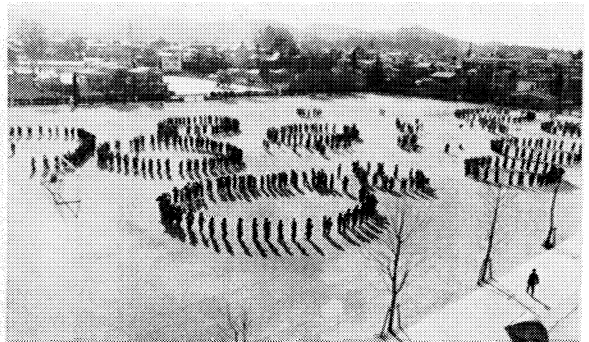
昨年度、文部省から、「体力づくり研究学校」に指定され、「体育的行事と余暇利用を結びつけ、体力の向上をめざし、体力づくりの生活化をはかるにはどのようにすすめたらいいか。」のテーマのもとに、水泳・なわとび・サーキット等の課題による自己訓練を通して体力づくりに励んでいる。



岩石園に続く中庭庭園

昼休み、千余名の生徒が、校庭せましとサーキット・トレーニングする風景は壮観である。

生徒会では、「行動する生徒会」をテーマに、会員の交流を深め、一人一人が生徒会活動に参加し、活気ある学校生活を目標に、フォークダンスや小さな親切運動、廃品回収などの奉仕活動を展開している。生徒の自主活動が部活動にもあらわれ、昨年度県中体連県大会で体操男子が優勝、三種目が準優勝するなど、数々の好成績を収



昼休みのフォークダンス(生徒会)